

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	備前焼振興事業		コード	担当課	商工観光課 観光係
事業実施期間			04-03-01-12	担当者	岩崎和久
総合計画 事業（政策）体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり			
	中項目	個性あふれる観光のまちづくり			
	小項目	観光			
	施策	備前焼の振興			

事業について	
目的	全国に誇れる備前焼を観光看板として全国展開し、観光振興による産業の活性化と人口増を促すとともに、日本の伝統美術の伝承と歴史的な財産の保存のため。
対象 (誰のために)	観光関係団体、観光客など
内容	備前焼の紹介と観光情報センター機能を備えた備前焼伝統産業会館の管理運営。備前焼の振興と観光客誘致のための備前焼まつりへの補助

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
会館利用者	19,812 人		
まつり来場者	120,000 人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		
	直接事業費	13,159	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等		
	人件費	1,708	受益者負担		人件費		受益者負担		
		市債				市債			
合計	14,867	一般財源等	14,867	合計	0	一般財源等	0	合計	0

結果指標①	必要人員	0.20	人		人
	結果指標名	会館利用者			
	結果指標量	19,812			
	単位	人			
	対前年比	-			
結果指標②	事業費	14,867,000	円		円
	単位当たりのコスト①	750	円		円
	結果指標名				
	結果指標量				
	単位				
対前年比	-				
事業費		円		円	
単位当たりのコスト②		円		円	

事業の成果	
成果指標名	備前焼伝統産業会館の利用者
式又は説明	観光動態調査による推計
17年度	
成果指標量	19,812
対前年比	0.00%
到達目標値	20,000
到達目標年度	20年度

事務事業の評価		課題認識
目的・ 対象・ 内容の 妥当性 評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性 の 評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性 の 評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分
コメント	備前焼の伝承と普及という面からの施設管理運営及びイベントによる大衆層へのアピールなど、事業効果は高いと思われる。しかしながら、次世代が求める満足度を研究しながら、浮遊層・富裕層の方向性を的確に捉えていく必要がある。	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度 結果指標量①	19,812	結果指標量②
目標値 成果指標量	20,000	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	施設管理及びイベント運営	随時	効率的な財政支出となる
有効性	次世代ニーズへの緩やかな対応	将来	普遍的な美学の継続性が保たれる

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。